

2026 年度 事業計画書

2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 日本介護支援協会

I 事業実施の方針

日本介護支援協会は、2025 年度、《社会福祉法人の強化を目指す》をテーマに、課題別オンラインセミナー①介護施設における食事提供の柔軟性と効率性 ②介護現場で ChatGPT を有効活用するには ③今日のケアが明日につながるために を開催し、介護の現場が抱える問題点について学びました。又、介護福祉士国家試験に向けた受験対策など、限られた費用と人材をより効率的に使い、適切なケアにつなげる事業を展開してまいりました。

今年度 5 年目の課題別オンラインセミナーでは、2026 年度介護報酬改定、2027 年度介護報酬改定の内容に沿った 3 つのテーマを取り上げました。介護福祉士国家試験に向けた受験対策は継続していきたいと思います。

日本介護支援協会は、ご利用者、そして介護の現場で働く人が元気になるよう、介護環境改善に必要な提案をさせていただきながら、皆さまとともにより良いケアの構築をめざします。

《テーマ》 社会福祉法人の強化を目指す

II 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 高齢者福祉に関する研修事業(社会福祉法人強化事業)

課題別オンラインセミナー【施設における柔軟性と効率性】	
参加費	日介協 法人会員(無料) 日介協 事業会員・個人会員(1,000 円) 非会員(2,000 円)
実施場所	Zoom による双方向型
対象者	介護保険事業運営施設

1) テーマ① 介護報酬改定のポイントと現場への影響 ～事業所が今やるべきこと～

項 目	内 容
目 的	2026 年介護報酬改定は、改定率プラス 2.03%の期中改定として、■処遇改善の拡充 ■食費基準の引き上げが実施されます。賃上げの上乗せ分を受けるためには、デジタルツールの導入を条件としています。 2027 年の介護報酬改定は、■給付と負担の見直し、■介護人材確保と生産性向上、 ■地域包括システムの深化など、これからの介護経営を左右する大きなターニングポイ

	ントとなります。法人のプロセスを見直し、制度を使いこなすために、私たちは今、何をするべきなのか。制度改正の背景、政策の狙い、現場への影響など重要ポイントをわかりやすく解説します。
--	---

2) テーマ② **介護現場における IT の有効活用と介護現場に潜む無駄な業務**

項 目	内 容
目 的	介護現場では、記録や書類作成、説明文の作成など、日々の事務的な業務に多くに時間がかかっています。その一方で、利用者一人ひとりに向き合う時間を大切にしたいという思いを、多くの現場職員が感じています。 近年、「ChatGPT」に代表される生成 AI が注目されていますが、「介護現場で使っても大丈夫なのか」「個人情報を守られるのか」「ケアプランにかかわってよいのか」など不安や疑問を感じている方もいるのではないのでしょうか。 本セミナーは、IT を無理に使うことを勧めるのではなく、介護現場において「使ってよいこと、注意が必要なこと」を整理しながら、それぞれの立場で安心して活用するための考え方と具体例をわかりやすくお伝えします。 介護業界では、無駄な業務が多いと指摘されることがよくあります。無駄な業務が積み重なると、現場の負担が増大し、職員が利用者と十分に向き合う時間を確保できなくなり、結果的に介護の質が低下したり、離職率が上がったりすることがあります。 あなたの施設にも、気づかないうちに職員の負担を増やしている業務が隠れているかもしれません。日々の忙しさの中で当たり前になっている作業も、改善できる可能性があります。 しかし、業務のどこに無駄があるのか、どう改善すればよいのかを明確にできず、悩んでいる事業所も少なくありません。このセミナーでは、介護現場における無駄な業務を見直し、改善を円滑に進めるためのポイントを紹介します。

3) テーマ③ **スキマ時間を活用した介護人材活用 ～ 法人内における人材シェアリング ～**

項 目	内 容
目 的	介護現場において、慢性的な人材不足が続く中、人材不足は常時ではなく、特定の時間帯・業務に偏在しているという実態も見えてきます。 ■入浴等の特定時間帯の人手不足 ■フルタイム前提の雇用による人材確保の限界 ■職員の業務負担増加による離職リスクなど、 一方で現職の介護職員においても ■短時間での追加就労のニーズ ■柔軟な働き方への要望が存在しています。 介護現場における人材不足に対し、業務を短時間単位で再設計し、スキマ時間を活用した人材配置を行うことで、人材確保と職員負担の軽減を図ることを提案します。

(2) 外国人研修の受け入れによる国際交流事業(アジア交流推進事業)

1) [介護福祉士国家試験受験対策講座の開催](#)

項 目	内 容
実施日時	2026 年 9 月 11 日(金) A パート「人間と社会」「介護」の領域を通信に詳細に解説 2026 年 11 月 6 日(金) B パート「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」を詳細に解説 2026 年 12 月 18 日(金) C パート「総合問題」「介護過程」を詳細に解説
実施場所	Zoom による双方向型
動画配信	2026 年 12 月～2027 年試験日まで
対 象 者	介護福祉士国家試験受験予定の介護福祉士候補者
目 的	効果的な学習方法を学び、一人でも多くの介護福祉士候補者が、自信をもって国家試験に挑み、合格を勝ち取っていただくことを目的に開催します。
講 師	いとう総研 伊東利洋 氏

項 目	内 容
実施日時	2026 年 11 月 国家試験の言葉対策 / 外国人合格者の受験対策を聞く 2026 年 11 月 国家試験の文章対策 / 外国人合格者の受験対策を聞く
実施場所	Zoom による双方向型
対 象 者	介護福祉士国家試験受験予定の介護福祉士候補者
目 的	外国人介護福祉士が抱える問題の中でも特に難しいのが「日本語の学習」が上げられる。国家試験においては、問題文を読めること、そして正しく理解することがもてられます。問題を読み解く対策について理解することを目的に開催します。
講 師	国際厚生事業団 植村康生 氏

(3) 高齢者福祉及び介護保険事業における人材育成事業(高齢者福祉における人材育成事業)

[介護福祉士国家試験 受験対策用テキストの配付](#)

項 目	内 容
配付時期	「介護福祉士国家試験受験対策講座」の開催に合わせて
対 象 者	日介協会員施設
目 的	「介護福祉士候補者向け 介護福祉士国家試験受験対策講座」で使用しているテキストを会員施設への配布し、介護福祉士国家試験に向けて活用してもらう。

(4) 福祉・保健・医療機関団体等との連携及び情報提供事業(情報提供事業)

ホームページの充実、活用

項 目	内 容
ホームページの活用	セミナーの案内、報告
会員ページの活用	・会員ページを活用して、セミナーの動画配信 ・セミナーの動画閲覧希望者へ ID とパスワードの発行 ・動画配信については、内容によってパスワードを変更

2. その他の事業

(5) 高齢者福祉施設・事業所の福利、経営に資する事業

共同購入システム「日介協ネット」の運営

コクヨグループの「ウィズ カウネット」のカタログ掲載価格から全品 6%値引きを施していく。
定期的にご入会キャンペーンを実施し、周知していきたい。

3. 役員会・組織の運営に関する事項

項 目	内 容
総会	通常総会の開催:5 月(又は 6 月)に開催する
理事会	通常理事会の開催:5 月(又は 6 月)及び翌年 3 月の 2 回開催する
正副会長会議	事業計画の推進について、共通理解、共通認識を深め、活動方針の確認調整等を目的に開催する
要覧の発行	当年事業計画・予算書、前年度事業報告・決算書を会員施設へ報告する